

## 1994 (平成 6 年)

- 10.17 流動性預金、定期積金の金利自由化実施
- 10.17 無担保コール・手形売買取引のうち、1～3週間物について、取引レート0.01%刻みを併用
- 12. 1 短資協会内に短資取引担保センター準備室を設置
- 12. 1 コール市場に「末初物」取引を新設
- 12. 5 コール市場に「スポネ」「オッド物」取引を新設。コール・手形取引のスタート日、期間設定を完全に自由化
- 12.22 東京外国為替市場の取引時間自由化スタート (いわゆる24時間取引)

- 10.26 イスラエル・ヨルダン平和条約に調印
- 12.17 第27代日銀総裁に松下康雄就任

〈この年〉 いじめ自殺深刻化。流行語「価格破壊」「就職氷河期」。8月3日東京で39.1度と41年ぶりに最高気温更新。産業・金融「空洞化」論議高まる

## 1995 (平成 7 年)

- 1.17 阪神・淡路大震災で、当社役職員の一部に家屋倒壊等の被害発生
- 3. 8 円相場 (対米ドル) 初の90円突破
- 3.20 経営破綻の東京協和・安全両信組の事業を引き継ぐ東京共同銀行が日銀等の出資により発足 (営業開始)
- 3.31 日銀、円高・株安に対処し短期金利の低め誘導を実施。コールレート急低下し、無担保ON物は一時公定歩合(1.75%)を下回るレートが出現

- 1. 1 関税貿易一般協定 (GATT) に代わる世界貿易機関 (WTO) 発足
- 1.17 阪神・淡路大震災発生 (犠牲者6425人)
- 3.20 都内営団地下鉄でサリン発生、死亡、重軽傷者多数を出す大惨事
- 7. 1 製造物責任 (PL) 法施行
- 7.11 米、ベトナムとの国交正常化
- 10.30 東京地裁、オウム真理教に解散命令
- 11. 1 新食糧法施行 (食糧管理法廃止)

1995  
(平成7年)

- 4.14 日銀、公定歩合0.75%引下げ(商業手形割引歩合1%)
  - 4.19 円相場(対米ドル) 79円75銭と既往最高値を記録
  - 4.26 短期金融市場取引活性化研究会発足(短期資金市場取引協議会を衣替え)
  - 6.1 無担保コール及び有担保コールの1週間未満の取引レートにつき0.01%刻みを併用(すべてのコール・手形売買取引につき $\frac{1}{2}$ %と0.01%の併用が実現)
  - 7.7 日銀、当面の金融調節方針を発表、短期市場金利を公定歩合を下回る水準に誘導
  - 7.20 日銀、即日決済の入札式手形売りオペを導入
  - 8.30 第2地銀最大手の兵庫銀行と、信組最大規模の木津信用組合の破綻表面化
  - 9.8 日銀、公定歩合を0.5%引下げ(商業手形割引歩合0.5%と史上最低水準)、「短期市場金利は、平均的にみて、新公定歩合をやや下回って推移することを想定」とコメント
- 11.20 ニューヨークダウ平均株価、5000ドル台乗せ

## 1995

(平成7年)

- 9.18 短資取引担保センター発足
- 10.16 無担保コールオーバーナイト物、有担保コール翌日物取引に24時間物を新設
- 10.24 上田大阪エンタープライズ(株)取締役社長に上田元彦就任(石田恭一退任)
- 11.1 上田ハーロー(株)開業満10年
- 11.16 全銀協、日本円TIBORの発表を開始
- 12.13 無担保コール・ON物金利0.10%と未曾有の低レート出現

(この年) 「戦後50年」の節目の年。「オウム真理教」事件で明け暮れ。流行語「マインドコントロール」「官官接待」。95年の合計特殊出生率1.42人と過去最低に

## 1996

(平成8年)

- 1.16 日銀、都銀への貸出限度額制度を廃止
- 1.29 経営破綻の兵庫銀行の事業を引継ぎ、みどり銀行が発足(兵庫銀行3月29日解散)
- 3.1 上海駐在員事務所開設(短資業界初の中国進出)
- 4.1 短資会社、レポ(現金担保付債券貸借)取引を開始
- 4.1 三菱、東京の両行が合併し、東京三菱銀行を新立
- 6.21 住専処理法など金融関連6法公布
- 7.26 住専7社の債権を引継ぐ住宅金融債権管理機構が発足
- 9.2 東京共同銀行、整理回収銀行(日本版RTC)に改組

- 1.11 橋本龍太郎内閣成立(久保亘、大蔵大臣に就任)
- 7.20 第26回オリンピック・アトランタ大会開幕(史上最多の197カ国・地域が参加)
- 9.3 故渥美清、国民栄誉賞受賞
- 10.7 ニューヨークダウ平均株価6000ドル台乗せ(終値では10月14日)
- 10.20 第41回衆議院総選挙、初の小選挙区比例代表並立制導入
- 10.23 ローマ法王、進化論を容認
- 11.7 第2次橋本龍太郎内閣成立(三塚博、大蔵大臣に就任。1998年1月28日橋本龍太郎、大蔵大臣兼任。同年1月30日松永光、大蔵大臣に就任)

1996  
(平成 8 年)

- |  |  |
|--|--|
| <p>9.17 経営破綻の太平洋銀行の事業を引継ぎ、わかしお銀行が発足（太平洋銀行10月25日解散）</p> <p>11.11 橋本首相、金融システム改革（日本版ビッグバン）を指示</p> <p>11.21 大蔵省、経営破綻の阪和銀行に業務停止を命令</p> <p>● <u>12. 6 日銀、当座預金の即時決済（RTGS化）導入方針を発表（2000年実施目標）</u></p> <p>● <u>12.20 上田ハーロー(株)、上田バトラー・トレジャリーサービス(株) 田澤高三郎が社長に就任、栗原富士男相談役に就任</u></p> | <p>12.18 ペルー・リマで左翼ゲリラによる日本大使公邸占拠・大量人質事件発生（1997年4月23日強行救出で解決）</p> <p>〈この年〉 高級官僚の汚職・不祥事相次いで表面化。英で恐牛病騒動。関西中心に病原性大腸菌O-157による大規模食中毒被害発生。流行語「メークドラマ」「援助交際」「茶髪」</p> |
|--|--|

1997  
(平成 9 年)

- |  |   |
|--|---|
| <p>2. 6 金融制度調査会、日銀法改正につき答申</p> <p>2.24 経営破綻の木津信組の事業を整理回収銀行へ譲渡（木津信組同日解散）</p> <p>4. 9 業務停止命令を受けた阪和銀行の事業を引継ぎ、紀伊預金管理銀行が発足（阪和銀行1998年1月26日解散）</p> <p>4.25 大蔵省、経営破綻の日産生命保険相互会社に業務停止を命令</p> <p>● <u>5.20 当社社長に伊佐山慎太郎就任、会長に上田元彦就任</u></p> <p>● <u>5.28 当社伊佐山慎太郎社長、短資協会理事に就任</u></p> | <p>2.13 ニューヨークダウ平均株価7000ドル台乗せ</p> <p>3.30 三井三池炭鉱閉山、124年の歴史に幕</p> <p>4. 1 消費税率3%から5%へ引上げ実施</p> <p>4. 5 東京のシンボル「丸ビル」閉館、74年の歴史に幕</p> <p>4. 7 クラウンリーシング倒産（破産宣告）、負債総額1兆1874億円と過去最大</p> <p>6.21 第23回先進国首脳会議にロシアが初正式参加、G7からG8へ（デンバー）</p> <p>6.24 大場満郎、スキーと徒歩による世界初の北極海単独横断に成功（121日間）</p> |
|--|---|

## 1997

(平成9年)

- |  |   |
|--|---|
| <p>7.30 大蔵省、総会屋への利益供与事件に絡み、野村証券、第一勧業銀行に一部業務の停止を命令</p> <p>● <u>9.29 上田短資証券(株)設立(100%子会社、取締役社長大沢孝：11月7日営業開始)</u></p> <p>11.3 三洋証券、会社更生法の適用を申請</p> <p>● <u>11.7 有担保コール・手形売買の取引期間を自由化</u></p> <p>11.17 北海道拓殖銀行、都銀初の経営破綻表面化</p> <p>11.24 経営破綻の山一証券、自主廃業を決定</p> <p>● <u>11.26 日銀、レポ市場向けオペを開始</u></p> | <p>7.1 香港が中国に復帰、155年の英統治に幕</p> <p>7.16 ニューヨークダウ平均株価8000ドル台乗せ</p> <p>10.16 臓器移植法施行</p> <p>12.11 地球温暖化防止京都会議、議定書を採択</p> |
|--|---|

(この年) 大手銀行・証券・企業で総会屋への利益供与事件相次いで発覚。英でクローン羊誕生。たまごっち大ヒット。今世紀最大級のヘール・ポップ彗星接近。流行語「ストーカー」「ビッグバン」「失樂園」

## 1998

(平成10年)

- |  |  |
|--|--|
| <p>2.18 金融システム安定化関連2法公布施行</p> <p>4.1 改正外為法施行</p> <p>4.1 改正日本銀行法施行</p> <p>● <u>6.20 創業満80年。「上田短資八十年記念誌」刊行</u></p> | <p>2.7 第18回冬季オリンピック・長野大会開幕(史上最多の72カ国・地域が参加)</p> <p>3.20 第28代日銀総裁に速水優就任</p> |
|--|--|